

広島地域文脈および建物用途の変遷からみた被爆建物による記憶継承

The Architectural Witnesses to City of HIROSHIMA

: Memory transfer through the Interaction between the City and A-bombed Buildings

熊谷 美咲
KUMAGAI Misaki

1. 序論

(1) 研究背景と目的

原爆投下から 80 年が近づく中、被爆体験証言者が減少し、被爆記憶を継承する上で、残されたモノの役割はより重要性を増している。被爆建物は無言の証言者として記憶を語る役割を期待されるが、各建物がいかなる記憶を継承するかについては言及されていない。被爆建物は、遺構や遺物のように凍結保存されたモノと異なり、建設時から被爆および復興を経て現在まで、建物として用途に合わせて利用されてきた。現在までの立地地域との関係性や利用の変遷からも、被爆建物は重層的・通時的な記憶を有するものと考えられる。すなわち、被爆建物は被爆時に重心をおく資料館展示や遺構、あるいは場所と切り離された展示遺物では伝えきれない側面の記憶を伝達する可能性を持つ。

建物単体の要素に加え、その立地や周辺環境も利用に作用することから各被爆建物が、いかなる記憶を語りうる存在であるか、またその記憶が何に基づくのかは個々に異なることが想定される。空間に着目し、広島市・地域/エリア・建物の空間スケールで先行研究をみると、広島市全域あるいは広島市の動向に注目しその関連性を考察した研究、建物単体に注目し、建築的特徴を考察した研究が蓄積されてきた。他方で、被爆建物と地域文脈（地域/エリアの特性およびその変遷）との関係性への言及はない。

本研究では、被爆という特定の事象で括られた被爆建物の現在に至る動態を、地域文脈と建物用途の変化の関係から明らかにする。その上で、地域と建物の関係性を踏まえ、建物に対する解釈と展示から被爆建物の記憶継承のあり方を考察する。

(2) 研究方法

本論文では、非木造の被爆建物の用途に注目し、消失・現存を含む 157 件の被爆建物を対象に、用途別の立地・消失時期の傾向を分析し、被爆建物と被爆前後における立地地域の変化との関係性を整理した。また、建物と地域の関係性を踏まえ、現存かつ建物内部へのアクセスが可能な被爆建物 12 件における用途変遷、保存・継承に際した建物に対する解釈および展示から、継承される記憶とその要因を考

察した。被爆建物は、被爆 50 周年に広島市が実施した調査¹を参照した。また、現存被爆建物については、文献調査に加え現地調査から建物の保存状況・展示、所有主体への聞き取り調査から建物利用の現状や展示整備の経緯を把握した。建物用途は【軍】・【公共】・【商業】・【金融】・【工業】・【その他】・【資料館】（被爆後）に分類した。年代は広島市が大きく変化した時期を境に 5 区分とし、立地地域は広島市を地域の成立過程と用途地域に応じた 12 エリア区分とした。

2. 被爆建物の用途変遷と都市の関係

被爆以前の被爆建物の建物用途は、都市計画の用途地域に即していた。ただし、建物用途【公共】【その他】は用途地域に関係なく立地していた。

市内中心部に広がっていた商業地域は戦災復興事業の対象地域（被爆全壊全焼地域とほぼ一致）となり、復興過程で商業地域に再生されたエリアと、平和記念公園へと変化したエリアに分かれ、エリアで消失年代に差が生じた。商業再生地域では、建物の高度化に伴う建て替えにより消失した【商業】【金融】建物もあった。市内中心と被爆を免れた周縁部に位置した軍用地は復興事業により、それぞれ官庁街と工業・住居地域に変化した。市内中心では被爆消失に伴い被爆後の地域と被爆建物の関係はみられなかったが、工業地域となった軍用地では、残存した【軍】建物が【工業】建物に転用、長期利用された。全壊全焼地域内の工業・住居地域では、【工業】建物が被爆消失し、被爆後の地域と建物の関係は見出せなかった。他方で、周縁に発展した工業・住居地域は被爆全壊全焼地域外であったため、エリアの継承とともに【工業】建物は被爆後も長期利用された。

被爆建物は、被爆後は立地するエリアの地域特性の変化/継承に即して消失・転用傾向にあった。

3. 現存の被爆建物の用途変遷と利用現状

12 件の現存被爆建物を、展示主題から原爆中心と原爆以外に大別すると、全壊全焼地域内（戦災復興事業あり）に立地し、【公共】建物および【未利用】を経て現用途【資料館】へと転用された建物の一部又は地下が遺る被爆建物（内部保存型被爆建物）は、被爆実相の伝達に資する建物として保存・整備された、被爆時を定点的に語る、被爆記憶のみを継承し

ていた。被爆全壊全焼地域内に立地し、【資料館】以外の建物用途の被爆建物(外観継承型被爆建物)は、共通して建物外観全体を有しており、地域特性に即した用途利用が継続し、建物記憶と地域記憶を継承していた。なお、被爆記憶の継承は建物によって異なる。全壊全焼地域外に立地し、現用途【資料館】へと転用された被爆建物(外観保存型被爆建物)は、広島市博物館基本構想の流れの中で外観保存され、建物の機能に対する評価から建物の前用途に関連した資料館となり、建物記憶のみを継承していた。

4. 建物と展示を通して継承される地域記憶

外観継承型被爆建物である平和記念公園レストハウスと福屋を事例として、継承される地域記憶をみた。レストハウスは、立地エリアが商業地域から被爆後平和記念公園に変化し、建物用途も合わせて【商業】から【公共】へ変化し現存した。福屋百貨店は被爆以前の商業地域が復興過程で再生され、建物用途を商業用途で利用継続し現存した。レストハウスでは、所有者(広島市)は用途に関係なく一貫して被爆建物と解釈し、存廃をめぐるのは、公園施設との解釈の上でレストハウス機能を優先した解体方針を示した。対して市民は被爆後も残る地域唯一の建物として、被爆前の地域を代表する建物との認識を示した。保存を決定した広島市は、3つの解釈を包括し整備を実施した。展示は被爆実相と被爆前の地区の伝達が中心であった。建物は現在も公園に合わせた利用を継続し、展示・建物を通してエリア特性の変化を示した。福屋百貨店では、所有者(福屋)は一貫して商業シンボルと解釈してきたが、広島市により被爆建物としての解釈が示され、福屋は被爆前からある百貨店/復興のシンボルと再解釈した上で展示を整備した。展示は被爆実相に重きをおくより通時的な記述である。建物は現在も商業機能を維持し地域特性に即した用途での利用状態にあり、被爆前の地域記憶を担保し、エリアの地域特性の継承を示した。

5. 考察

被爆復興の過程でエリアごとに地域特性の変化/

継承に違いが生じた。その違いは被爆建物の消失および現存被爆建物の用途展開双方に影響した(図1)。現存被爆建物では概ね、被爆後の地域特性に即して用途の転用/継続がなされてきたが、多くの被爆建物は都市整備に伴い消失し、結果的に現存しアクセス可能な建物は保存前に【公共】用途となっていた建物が多かった。これら【公共】用途から【未利用】や解体予定であった建物は、新たに【資料館】用途が再付与され保存となった。資料館化に至る広島市の動向、内部展示・外観・立地による違いに基づき、被爆建物は被爆記憶の継承か建物記憶の継承かが異なった。他方、現在まで地域に即した用途が展開された建物では、資料館以外の用途が付され、内部展示・外観・現用途に基づき、建物記憶・地域記憶(建物によっては被爆記憶も)を継承した。すなわち、各建物で継承される記憶は、広島市全体の動向・立地エリアの地域特性・建物の特性の各要素が影響したと考えられる。また、地域特性に即した用途の被爆建物では、保存や継承にあたり建物が地域を代表し地域記憶を担保する存在となった。すなわち、地域と建物の相互関係と、現在も地域に合わせて利用されている状態が、地域記憶と建物記憶の継承に作用したと考えられる。被爆建物は、被爆実相だけでなく被爆前後の地域に対し理解を深める一助になる存在でもあり、被爆建物を「建物」として使い続けられる状態で残し利用する意義は大きいだろう。

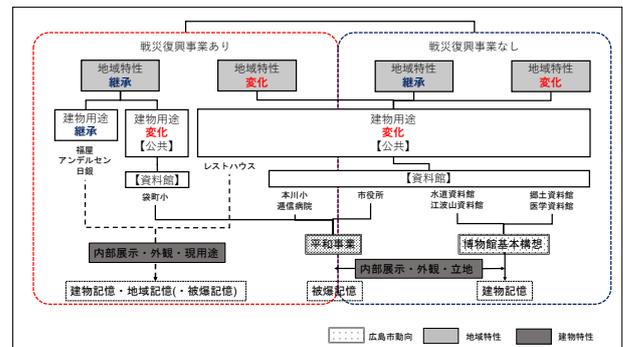


図1 現存する被爆建物の動態と継承される記憶

1)被爆建造物調査研究会編(1996):『ヒロシマの被爆建造物は語る: 未来への記録被爆50周年』。平和記念資料館。

Abstract: This study clarified the transition of A-bombed buildings based on the characteristics of city of Hiroshima, the area in which the buildings are located, and the individual buildings. It also examined how local memories are transferred through buildings. The transition in use and the process of loss of A-bombed buildings, both existing and lost, generally tended to follow the characteristics of the area before and after the A-bombing. A-bombed buildings have been used following the changes/succession of local characteristics, and buildings have been restored/renovated in their uses. The continued use of the buildings in the local area makes it possible to pass on the memory of the community through the A-bombed buildings.